

LED クリップ ライト LCL-8 シリーズ

保証書付き取扱説明書

この度は、オーム電機のLEDクリップライトLCL-8をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく、安全にお使いください。また、この取扱説明書には、保証書もついておりますので、大切に保管し必要なときにお読みください。

主な仕様

〈本体〉

定 格 DC13.2V 280mA

用途及び照度 読書用 (300ルクス以上)

使用光源 ソウル半導体社製LED×8個
(交換不可)

全 光 束 220ルーメン

〈ACアダプター〉

定 格 AC100V 50/60Hz

消費電力 4.2W

コードの長さ 約1.8m

※LED光源にはバラツキがあるため、同じ形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますので、ご了承ください。
※本機の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

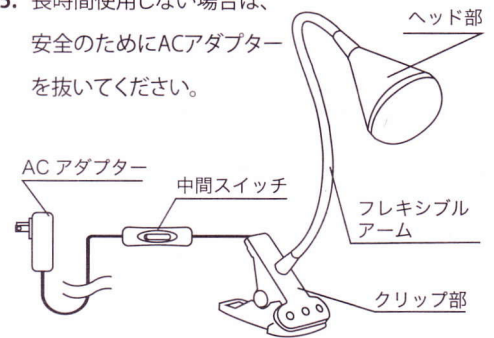
本体設置の仕方

クリップ部をテーブル等の天板にはさみ、使用します。大型クリップを採用しているため取付け部分への保持力が高く、安定した設置ができます。ただし以下の場所には取付けが不安定になりますので設置をおやめください。

- 取付け部分の厚みが20mm以下及び30mm以上ある場所。
- 取付け部分の幅が狭く、クリップ部の先の方でしかつかめない場所。
- 取付け部分が円形であったり動いたりして不安定な場所。
- 取付け部分がやわらかく変形しやすい場所。
- 取付け部分が平らでなく、斜めになっていた、波うっている場所。

ご使用方法

1. ACアダプターをコンセントに差し込みます。
2. 中間スイッチをON側にするとうランプが点灯します。
3. フレキシブルアームで、使いやすい位置に調節し、ヘッド部を、手でつかんで光の角度を調節してください。消灯後は熱くなっていますので注意してください。
4. 消灯する時は中間スイッチをOFF側にするとうランプが消灯します。
5. 長時間使用しない場合は、安全のためにACアダプターを抜いてください。



安全上のご注意

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

- カーテンなど、燃えやすいものの近くでは、使用しないでください。火災の原因になります。
- 布や紙、ビニール袋等、燃えやすいものをヘッド部の上にかぶせたりしないでください。火災の原因になります。
- 水気、湿気の多い場所では使用しないでください。感電事故や火災の原因になります。
- 設置や調節は、正しく行ってください。落下事故や火災、けがの原因になります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしり物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

- 点灯中や、消灯直後は、ヘッド部が高温になっていますので手をふれないでください。やけどの原因になります。
- ご自分で分解や改造はしないでください。感電事故、故障の原因になります。
- ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って行ってください。コードを持って引き抜いたりするとショートや、感電、火災の原因になります。
- 長時間、ご使用にならないときはACアダプターを抜いてください。絶縁裂化による漏電火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

使用上のご注意

- 本製品をテレビやラジオの近くでご使用すると、雑音が入る場合があります。その時は少し離してご使用ください。
- 点灯時は、照射物より20cm以上離してください。照射物の変形、変色、焼損、火災の原因になります。
- ヘッド部の向きを調節し、光源を直接見ないでください。目の健康を損なう恐れがあります。
- この製品は、室内専用です。野外でご使用になりますと、さび、故障、感電事故の原因になります。
- 電源コードの上に物を置いたり、吊るしたりしないでください。コードが損傷し火災や感電事故の原因になります。
- 高温になる場所(ストーブ上等)、又はその近くで使用しないでください。ヘッド部や本体等の変形、故障、火災の原因になります。
- ペット(犬、猫等)のいる部屋で使用しないでください。ぶつかった場合、落下や破損の恐れがあります。
- 器具の隙間や加熱穴等に金属類(ヘアピン、針金等)を差し込まないでください。感電事故、故障の原因になります。

⚠ 注意

お手入れ時のご注意

- 水洗いはしないでください。感電、漏電の恐れがあります。又、故障の原因になります。
- シンナー、ベンジンなど揮発性の高い薬品、クレンザーなどは使用しないでください。器具が損傷したり、変色、変質の原因になります。
- 本機のお掃除をされる際は、必ずACアダプターを抜いて行ってください。ACアダプターを差したまま作業すると、感電事故の原因になります。